

授業実践前サポート研修②

アクティブ・ラーニングの視点からの指導案分析②

平成28年10月19日

静岡県総合教育センター総合支援課

# アクティブ・ラーニングの視点からの 指導案分析②の過程

## 1 学びのデザインシートによる授業構想の分析

学びのデザインシート、  
授業設計診断ワークシート②による。

## 2 振り返り

# **1 学びのデザインシートによる授業構想の分析 (85分)**

# 学びのデザインシートによる授業構想の分析

授業設計診断ワークシートの

## 授業設計診断を利用した授業分析

事前に作成した「学びのデザインシート」を、授業設計診断4項目の視点から分析し、生徒の「深い学び・対話的学び・主体的学び」が促しやすくなるように改善案を考える。

科名	
本時の目標	
解決したい課題や問い (主発問・学習課題)	
学習の成果	解決したい課題や問い
対話と思考	考えるための材料



# 学びのデザインシート 学びのデザインシート (記入例)

学びのデザインシート (授業前)  
主体的・対話的に深い学びを実現する授業構想【公民/現代社会】

- 対象 (実施を想定する学校・生徒の実態の概要)
 

対象クラスでは、生徒全員が四年制大学、専門学校等への進学を希望している。生徒は教員の説明をよく聞くことができ、ワークシートをもとに論理的に考察し、表現する学習に取り組んでいる。各単元に1回程度、学習課題をもとにしたグループワークを行い、社会に暮らす人々の様々な立場や多様な視点からの見方・考え方を比較・統合し、自己の考えを構築できるよう指導している。
- 単元名 「現代の民主政治システムにおける政治参加の意義」 (全7時間)
- 単元目標
 

民主政治は国民の多様な意見を基礎として運用されていることを踏まえ、社会の課題について複数の資料等を読み、多面的・多角的に考察する。この単元では地方自治に主眼を置き、地域社会の課題を解決する方策として「社会・生活インフラ企業『コンビニ』」を起点としたまちづくり案」を提案させ、誰もが幸せになれる社会の実現へと主体的に行動する態度を育成する。
- 本時の目標
  - 考えが一つでない問いに対して、複数の資料をもとにした多様な考えを対話によって比較・統合し、他者の考えに触発されることで自己の考えが定着したり、自己の主張の論拠が強くなったりすることを体験しながら、自己の主張を論理的に表現することができるようになる。(思考・判断・表現)
  - 「社会・生活インフラ企業『コンビニ』」を起点としたまちづくりを提案しよう」という次時の学習課題に関して、自分なりのプランを構想し、仲間と話し合いたいくなる。(関心・意欲・態度)
- 授業展開

解決したい課題や問い  
都市圏問題のコンビニの食品を使って、その日の食べ物に困っている子どもたちに与えるシステムを考えるとどうだろうか、反対か？

考えるための材料A	考えるための材料B	考えるための材料C
「売れ残り」貧困の子へ「偏見助長」現場危機 子どもの貧困対策の一環で、福岡県がコンビニから消費期限満5日のパンなどを譲り受け、NPO団体を通じて児童福祉の子どもたちに供出した。廃棄対象食品を子どもたちの支援に結びつけることに疑問を投げ掛ける資料。	食べられる食品を捨てる心の痛み コンビニ店長が、利益追求のため大量を処分しないよう自衛的に廃棄すること、食べられる食品を毎日捨てることの被害で悩む母親の姿がみられる資料。	社会・経済インフラとしてのコンビニ 社会・経済インフラとしてのコンビニが、雇用創出、地域経済、商店街対策、防災、買物弱者、高齢者の見守りなどの社会問題を解決し得るといふ内容の資料。
「毎日新聞」2016. 3. 31.	三宮真夫「コンビニ店長の致謝日記」小学館新書	佐城 泰「最新コンビニ業界の動向とカタリがよ〜くわかる本」秀和システム
想定される活動	想定される活動	想定される活動
「なぜ、消費期限満期の食品を使って、困窮層の子どもに支援につなげることをせざるのか？」について考察する。廃棄される食品の在庫が時買費をかさねて、先手手で取上り大量の売れ残り食品の廃棄につながることに気付く。	「なぜ、コンビニでは食べられる食品が大量に廃棄されているのか？」について考察する。頼り切れない在庫が時買費をかさねて、先手手で取上り大量の売れ残り食品の廃棄につながることに気付く。	「コンビニは社会・経済インフラとして、どのような役割を期待されているのか？」について考察する。社会インフラ機能を持ったコンビニが、社会の持続可能な発展に貢献し得ることに気付く。

### 思考 (対話を通じた協働的な問題解決のプロセス)

を持って主張できる複数論拠  
案が持ち得ていないような見点を含め、複数の論拠を生徒が持つことで、生徒が自信を持って主張したり、互いに質問しあうことができるような話し合いを引き出す。  
な見方・考え方に基づく判断  
解決したい課題や問いについて、生徒は既に持っている情報のみで判断するのではなく、多様な見方・考え方を比較・統合して考えたと上で、賛否の判断を行い、根拠をもって説明できる状態になる。協働的な議論や新たな議論への条件も  
質を持って主張できる論拠をもとに質問し合ったり、他者の考えにヒントを得て考えたりする過程  
自分の考えが整理され、新たな議論や具体的な提案を導き出すことができる。

### 成果 (予想される生徒のあらわれ)

・食料を効率よく利用するシステムは合理的だ」と考えていたが、廃棄対象食品を对象に困窮層の子どもたちを支援することが、人徳の尊厳を傷つけるという視点は持っていなかった。困窮層の子どもたちの支援については、給付金などの社会福祉制度を充実させる方向で考えるべきではない。  
・給付金、困窮層からのニーズが商品管理が行き届いていないイメージがあり、入居すためではなく、消費期限満期の食品を利用した支援システムは効果的が良い。無職にあるコンビニが「経済インフラ」として供給網の復元を果たすなら、配達コストも減らされる。  
・守りで賛成。支援を受ける子どもたちは、心のどこかに悔みない意を抱えることになるのではないかと、宅配と組み合わせたら、週に一度「みんなで廃棄対象食品を使った町会食を食べる日」を設けるなど、支援とは異なる持続可能な発案へつながる具体的な方策を更に考えてみたい。

### 考える生徒のあらわれに関する育成すべき資質・能力の三つの柱からの分析

・技能
「材料A、B、Cにある「子どもたちの声」(偏見助長、「コンビニ店長」としての相対論、「食べられる食品を棄てる罪意識」(雇用創出)「地域経済」(商店街対策)「防災や買物弱者、高齢者の見守り」「経済社会インフラとしてのコンビニ」等の論点を正しく理解され、支那に用いられている。
力・判断力・表現力
「資料内にある知識や概念を正しく理解し、文章の中で活用している。」 「順序立てる」「比較・統合する」「具体例を挙げる」「自分の体験を盛り込む」 「新たな課題を示す」などして、根拠に基づいた主張を展開している。 「シミュレーション」「持続可能性」の視点を踏まえた判断がなされている。 ・次時の学習課題に関して、自分なりのプランを考え、仲間と対話しながら、未来志向のまちづくり案を提案し始めている。 ・仲間との対話で、新しい考えを生み出すきっかけとなることに気付いている。
性・学びに向かう力・個性など

# 授業設計診断 ワークシート②

## 「見方・考え方」を働かせた学びの先に求めること

解決したい  
課題や問い



**【理科】**

サンプルA、B、Cの3つの砂は、それぞれ天竜川・大井川・狩野川のうちのどれに相当するか？

## 「見方・考え方」を働かせた学びの先に求めること

解決したい  
課題や問い



### 【公民】

消費期限間近のコンビニの食品を使って、その日の食べ物に困っている子どもたちに与えるシステムを考えることに賛成か、反対か？

その理由を根拠にもとづいて説明してください。

生徒の実態より少し高めで、  
対話を必要とする課題であるか？

## 「見方・考え方」を働かせた学びの先に求めること

### 考えるための材料



- A 廃棄対象食品による支援は、人間の尊厳を傷つける可能性を持つことに気付く。
- B 棚いっぱい在庫が購買意欲をかき立て、売り上げ向上と大量の売れ残り食品の廃棄につながることに気付く。
- C 社会インフラ機能を持ったコンビニが、社会の持続可能な発展に貢献し得ることに気付く。

多面的・多角的な視点からの材料となっているか？

## 「見方・考え方」を働かせた学びの先に求めること

### 対話と思考



#### 【自信を持って主張できる複数論拠】

- ・これまで持ち得ていない視点
- ・自信を持って主張し、質問し合う。

#### 【多様な見方・考え方に基づく判断】

- ・既存の情報のみで判断しない
- ・多様な見方や考え方を比較・統合

#### 【具体的な提案や新たな課題への気き】

- ・他者の対話による自分の考えの整理
- ・新たな課題や具体的な提案の創出

どんな対話が起きるか想定できているか？



## 「見方・考え方」を働かせた学びの先に求めること

### 学習の成果



反対。食品を効率よく利用するシステムは合理的でよいと考えていたが、廃棄対象食品を対象に困窮層の子どもたちを支援することが、人間の尊厳を傷つけるという視点は持っていなかった。困窮層の子どもたちの支援については、給付金などの社会保障制度を充実させる方向で考えるべきではないか。

生徒の考えを想定することが、  
評価の規準にもつながる。

## 「見方・考え方」を働かせた学びの先に求めること

### 学習の成果



条件付きで賛成。支援を受ける子どもたちは、心のどこかに惨めな思いを抱えることになるのではないだろうか。宅配と組み合わせたり、週に一度「みんなで廃棄対象食品を使った朝食を食べる日」を設けたりするなど、支援とは異なる持続可能な発展へとつながる具体的な方策を更に考えてみたい。

## 【教科別 3 人グループ】

①グループでの検討 <【23分】(17分) / 1人>

授業者は、学びのデザインシートに従い授業構想を説明する。 <【5分】(5分)>

②グループメンバーは、授業設計診断 4 項目の視点から、改善策を提案し合う <【18分】(12分)> **提案された考えは、授業設計診断ワークシート②にできるかぎりメモする。**

①②を 3 回繰り返す。

## 2 振り返り (10分)

## 【個人による振り返り】

- ③授業設計診断ワークシート②のメモを考える材料に、個人で振り返り、再度、授業構想を行う。（10分）